ALSO プロバイダーコース

in 山形大学

Advanced **L**ife **S**upport in **O**bstetrics**(ALSO)**は、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。プライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医や助産師を対象とした訓練でもあります。1993年にAmerican Academy of Family Physicians（AAFPー米国家庭医学会）によって認可され、米国の多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講しています。

コースの教材は、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップで、筆記試験とマネキンによる実技試験が含まれています。ALSO はLDR における産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者ー医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれています。

プロバイダーコースは二日間です。レクチャー、eラーニングには妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性が含まれています。少人数グループによる重要ワークショップには肩甲難産、胎位・胎向異常、吸引分娩、分娩中の胎児監視、合併症妊娠の症例検討が含まれます。

プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は３年間有効の認証を受けることができます。

今回のプロバイダーコースは、山形県では8回目の開催です。安全な産科診療の技術、知識を学ぶために、ぜひご参加ください。

セミナー：ALSO プロバイダーコース in 山形大学

主催：山形県産科婦人科学会
共催：NPO 法人周生期医療支援機構（OPPIC）、山形県
定員：12 名（うち公募は 5 名程度）
受講資格：医師・助産師・看護師・研修医
会場：山形大学医学部　YU-MAI センター
日時：令和 9 年 2 月 13 日（土）、2 月 14 日（日）
※ 両日とも会場で対面での演習です。
※ 事前に e-learning による講習・テストがあります。
参加費：27,000 円
申込方法：Google form で以下の内容を入力し、送信してください。
回答フォーム： https://forms.gle/YWxRnoqchZvXZdE88

① 名前　②ふりがな　③ローマ字表記
④所属病院　⑤診療科　⑥役職　⑦職種
⑧卒業年度（西暦）　⑨現住所　⑩携帯番号
⑪メールアドレス（PC のみ）

申込締切：12 月 4 日
※山形県内の方を優先します。
※携帯メールアドレスは受け付けられません。

※メールで個別にお返事いたしますが、12 月 11 日までに返信が届かない場合には、山形大学医学部産科婦人科学講座(023-628-5393)、渡邉憲和までご連絡ください。

受講経験者のアシスタントとしての参加も募集しています。規約の変更により、アシスタントとしての参加ではプロバイダー資格の更新はできませんが、改めて一緒に勉強したいという方はご連絡ください。

＜お問い合せ＞
〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2　　山形大学医学部　産科婦人科学講座
渡邉　憲和　Tel. 023-628-5393/Fax 023-628-5396
e-mail: n-watanabe@med.id.yamagata-u.ac.jp